

新しいスタート

特集

三重大学医学部附属病院

新外来・診療棟が開院!



新外来棟 1F~5F

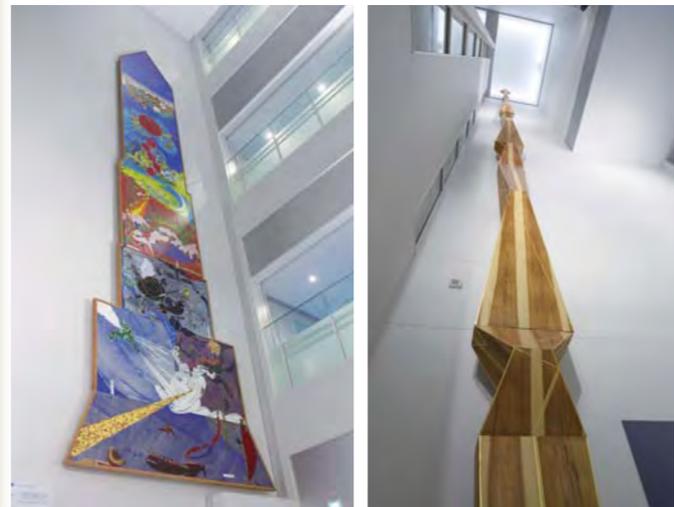
2015年5月7日(木)、三重大学医学部附属病院 新外来・診療棟が開院しました。

基本コンセプトは“最先端医療が安全に受けられる患者さん中心の病院”です。新外来・診療棟は、免震構造を備えた5階建て、診察室は従来の96室から131室へ増設し、受け入れ体制をさらに強化しています。

再来受付をよりスピーディーに行うため、自動受付機を各階に設置しました。さらに、会計の待ち時間を減少させるため各フロアに計算窓口を設置し、案内表示も各所に配置するなど、患者さん目線の分かりやすさと利便性を向上させました。

三重県唯一の特定機能病院として、皆様に満足していただける安全で高度な医療を提供できる環境、その一端を紹介します!

- 5F** 院内学級
 - 患者図書館 (患者図書館へは、診療棟6階エレベーターからお越しください)
- 4F**
 - 皮膚科
 - 精神科神経科
 - 脳波検査室
 - 歯科口腔外科・口腔ケアセンター
 - 栄養指導管理室
 - 食事療養室
 - 肝炎相談支援センター
- 3F**
 - 総合診療科
 - 呼吸器内科
 - 腫瘍内科
 - 中央採血室
 - 呼吸器機能検査室
 - 外来化学療法部
 - 循環器内科
 - 腎臓内科
 - 糖尿病・内分泌内科
 - 神経・筋電図室
 - 運動機能検査室
 - 血管ハートセンター
 - 消化器・肝臓内科
 - 血液内科
 - 腎泌尿器外科
 - エコー室
 - 心電図室
 - 遺伝カウンセリング室
 - オーダーメイド医療部
- 2F**
 - 一般外科
 - 心臓血管外科
 - 脳神経外科
 - 小児外科
 - 産科婦人科
 - 神経内科
 - 中央放射線部(X線撮影・透視・CT・MRI)
 - 消化管外科
 - 呼吸器外科
 - 整形外科
 - 小児科
 - 乳腺センター
 - 麻酔科(ペインクリニック・統合医療・鍼灸・漢方)
 - 肝胆膵・移植外科
 - 耳鼻咽喉・頭頸部外科
 - 眼科
 - 高度生殖医療センター
- 1F**
 - 予約センター
 - 薬剤指導管理室
 - 臓器移植センター
 - 各種受付
 - 放射線治療
 - 栄養指導室
 - リボンズハウス
 - ATMコーナー
 - リハビリテーション
 - 医療福祉支援センター
 - 健診センター
 - ローション
 - ドトール

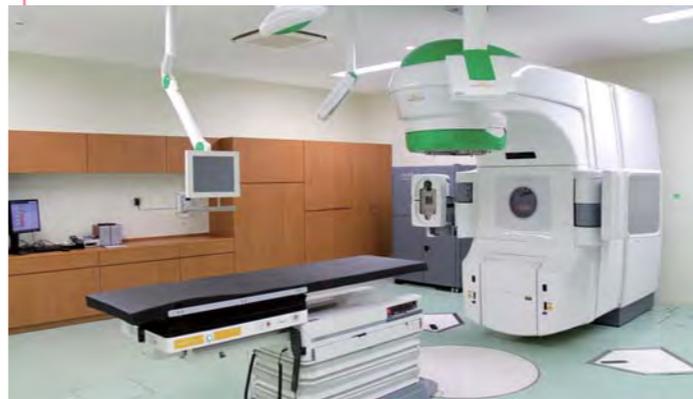


1Fに設置の巨大アート (左)積層絵画「元気・自然」 (右)藤堂杉張りモニュメント「希望」

1F・2F

中央放射線部

中央放射線部1階には、がん治療の最新鋭の放射線治療装置を3台導入しています。この装置は、狙った箇所(がん組織)に放射線を集中させる一方、正常な組織には影響を少なくできる治療(IMRT:強度変調放射線治療)が可能です。さらにエックス線画像を用いた位置合わせ(IGRT:画像誘導放射線治療)は、1mm以下(サブミリ単位)で正確に治療ができます。



三重大学のイメージカラー緑色をあしらった高精度放射線治療装置



これら2つの技術により治療効果をも高め、体への負担は最小限に抑えることが可能となりました。

2階には、東海地区初の世界最速を誇るCTを導入しました。被曝線量を抑えた画像診断が可能です。

世界最速の撮影速度をほこる、最新のCT装置



三重大学医学部附属病院 中央放射線部 内藤 雅之



3台体制は 県内初、国内でも 珍しいんだよ!

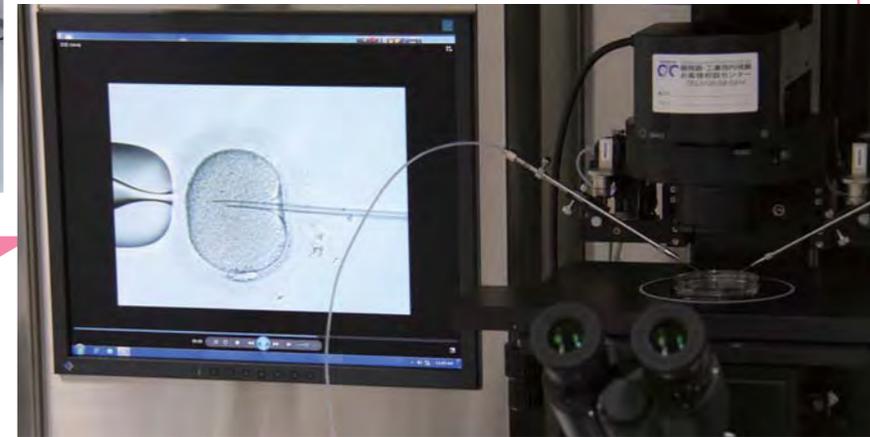
2F

高度生殖医療センター

大学で不妊治療を行うことにより、合併症を持つ患者さんでも他科と連携しながら、妊娠から出産まで一貫した管理ができるメリットがあります。卵管鏡など大学でしか出来ない治療や未熟卵体外受精等の最新治療も行います。また、精子凍結、将来的には卵子・卵巣凍結といった長期目線での治療も行っています。



採卵室で取り出した卵は、隣の培養室へ送られる



培養室にて、体外受精の様子



三重大学医学部附属病院 高度生殖医療センター・助教 前沢 忠志

3F

外来化学療法部

土日祝祭日を除き毎日、抗がん剤治療を行うことが可能です。投薬治療は約2時間程度という長い時間がかかりますので、姿勢に合わせてベッドを調節できたり、テレビを視聴できたりと、少しでも患者さんのご負担を軽減できるよう努めています。



抗がん剤を調整するための専用室も整備



快適な姿勢でリラックスして治療を行うことが可能

また、診察室から連絡を受けた際は外来治療専門の調剤室で全ての準備ができますので、速やかに患者さんを受け入れることができます。



三重大学医学部附属病院
外来化学療法部長
水野 聡朗

3F

ハイブリッド手術室

ハイブリッド手術室(Hybrid OR)は手術室内に血管撮影装置を備え、低侵襲な血管内治療(IVR)と従来の外科的治療を同じ手術室で行える環境を整えた手術室のことです。

従来はIVRだけでは完全な治療ができない患者さんに対して、手術室で外科的治療を追加する必要がありましたが、Hybrid ORの導入によりIVRと外科的治療の同時手術が可能となりました。また、人工心肺などの大型装置を常にバックアップさせておく事が可能で、胸部大動脈ステントグラフト(TEVAR)・腹部大動脈ステントグラフト(EVAR)治療やTAVI(経カテーテル的大動脈弁置込み術)など、特に難易度の高い血管内手術をより安全に行う事ができます。アームを高速で回転させ撮影するCT撮影(CBCT)を行い、画像を3D表示する事でより確実なIVRを行う事も可能となりました。



PHILIPS Allura Clarity Hybrid OR System FD20C

エックス線造影だけでなく、同時に手術も可能

CBCTの3D画像は上記疾患のIVR支援ツールとしてだけでなく、一般的な手術室で外科用C-アーム透視装置を用いていた、術中血管撮影が必要な脳神経外科手術や脊椎手術等の支援にも非常に有用です。

今後、血管ハートセンターや関連診療科が最先端医療を施行できるように、Hybrid ORの活躍が期待されています。

三重大学医学部附属病院
血管ハートセンター副センター長
阪井田 博司



この施設は国内では約100施設しかないんだよ!



脳動静脈奇形の撮影の様子



最新の設備だけじゃない! こんな取り組みも!

4F



グルメディカル教室

「グルメ(食通)」+「メディカル(医療)」が融合した、実際に料理を作り、食べて学べるクッキングスタジオです。「おいしい治療食」をモットーに、糖尿病や高血圧などの生活習慣病、各種がん、腎移植患者さん向けの教室を開催していきます。



2015年6月22日(月)に「乳がんの方のためのグルメディカル教室」を開催し、治療中の体に配慮した誰にでも簡単に作ることができる料理を紹介し好評を博しました。調理実習や試食は闘病の中での笑顔みせるひとときとなり、食事に対する不安も解消したようです。

料理研究家 村岡奈弥先生の
実演指導



三重大学医学部附属病院
病院長顧問・管理栄養士
岩田 加壽子

新外来棟開院にあたって



三重大学医学部附属病院
院長 伊藤 正明

本年5月7日に、三重大学病院の新外来棟がオープンいたしました。2012年に新病棟・診療棟が開院して早3年が経過していますが、今回の外来棟のオープンにより、新しい三重大学病院の姿がいよいよ完成したことになります。

“最先端医療が安全に受けられる患者様中心の病院”を基本コンセプトに、新外来棟でも、患者様に心の安らぎと癒しを提供できる病院環境を構築しました。新外来棟では、診察室を96室から131室へ増設し、高度生殖医療センターの新設、がんセンターや血管ハートセンターなどセンター機能の集約化、フロアごとの分散会計の導入、卒後臨床研修部門の拡充や外来化学療法部の充実、ハイブリッド手術室を含む手術室の増設や手術支援ロボットをはじめ最新設備の導入など、質的向上と量的拡大の両面から診療機能のパワーアップが図られています。

三重大学病院は、県唯一の特定機能病院として、先進医療、高度医療を行い、三重県の医療における最後の砦の機能を果たせるよう、病院職員一丸となって邁進して参ります。また、医師、看護師やメディカルスタッフなどの人材育成を通じた地域医療への貢献も、今後さらに皆様のご期待に沿えるよう活動して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。